

令和8年度第1回岡山県認知症施策推進会議 資料

岡山県の認知症施策について

(令和7年度岡山県認知症対策連携会議資料 時点修正版)

施策一覧	1
(1) 普及啓発・本人発信支援	2
(2) 予防	3
(3) 医療・ケア・介護サービス	4
(4) 地域で支える体制の整備	8
参考資料	
令和6年度岡山県認知症疾患医療センター(8センター)の活動実績	12
令和6年度おかやま認知症コールセンター実績報告	13
おかやま若年性認知症支援センター実績報告	15
市町村別認知症施策の取組状況について	18
第9期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画目標	19

岡山県の認知症施策について

1 普及啓発・本人発信支援

- (1) 認知症サポーター等の養成
- (2) 認知症に関する理解促進
 - ・認知症の日（毎年9月21日）及び認知症月間（毎年9月）（世界アルツハイマーデー及び月間）における認知症の普及啓発
 - ・VRシステムによる認知症の普及啓発
- (3) 認知症の人本人からの発信支援
 - ・本人ミーティングの普及等の推進

2 予防

- (1) 通いの場の普及促進
- (2) 通所付添サポート事業の実施
 - ・アウトリーチの実施、通所付添サポーターの養成、介護予防先導モデルへの補助

3 医療・ケア・介護サービス

- (1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備
 - ・認知症疾患医療センターの設置
- (2) 認知症サポート医の養成等
 - ・認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修の実施
- (3) 医師等の認知症対応力の向上
 - ・医療従事者（かかりつけ医、歯科医師、薬剤師、看護職員等）を対象とした認知症対応力向上研修の実施
- (4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成
 - ・介護従事者を対象とした認知症介護の知識・技術の習得、質の向上を図る研修の実施

4 地域で支える体制の整備

- (1) 認知症の人とその家族への支援
 - ・「おかやま認知症コールセンター」の設置
 - ・介護家族等の交流会の開催
- (2) 若年性認知症の人への支援
 - ・「おかやま若年性認知症支援センター」の設置
 - ・若年性認知症の人と家族の集いの開催
- (3) 市町村の取組の支援
 - ・認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員を対象とした研修の受講支援
 - ・認知症の人やその家族のニーズと支援者をつなぐ「チームオレンジ」の整備支援
- (4) 成年後見制度の利用促進
 - ・市民後見人の養成及びフォローアップ研修の実施
 - ・成年後見制度を利用できる体制整備に向けた普及啓発
- (5) 行方不明の認知症高齢者への対応
 - ・市町村内や県内外における広域見守りネットワークづくりの推進

1 普及啓発・本人発信支援

〈R7年度当初予算額 12,843千円〉

(1) 認知症サポーター等の養成

市町村における認知症サポーターの養成を支援するため、認知症サポーター養成講座で講師を務めるキャラバン・メイトを養成する。

また、市町村と協働して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

【岡山県全体の養成数（各年度末時点の累計養成数）】

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
キャラバン・メイト数	3,249人	3,367人	3,513人	3,587人
認知症サポーター数	224,978人	239,789人	255,285人	267,971人

(2) 認知症に関する理解促進

ア 認知症の日（毎年9月21日）及び認知症月間（毎年9月）（世界アルツハイマーデー及び月間）における認知症の普及啓発

令和7年度の取組

（県）テレビ、ラジオ、ポスター・パネル展示、県庁舎ピロティライトアップ、路面電車中吊り広告、商業施設のインフォメーションパネルでの広報等
（市町村）講演会、研修会、個別相談会、映画上映会、出張認知症カフェ、パネル展示、オレンジライトアップ（岡山城、津山城、備中国分寺、嵐山公園ほか）等

イ VRシステムによる認知症の普及啓発

医療・介護サービス施設等の職員、介護家族、市町村及び地域包括支援センター職員等を対象に、VR（仮想現実）機材を活用し、座学だけではなかなか実感がわかない認知症の中核症状等を疑似体験することを通じて、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の方や介護家族等への適切な対応方法をグループワークで考える出前研修会を実施する。

研修受講者数（H30～R7年度の累計） 2,699人

令和7年度に新たに実施した事業

- 県広報紙「晴れの国おかやま」を活用した広報（12月号 特集記事）
- 啓発用パネルの作成（認知症に関する正しい知識・理解を深めるため、各種イベントで使用可能なパネルを作成（子ども用・大人用の2種類）
- 県職員向け研修（映画「オレンジ・ランプ」上映及び講演）

(3) 認知症の人本人からの発信支援

ア 本人ミーティングの普及等の推進

県下の認知症当事者が集い、当事者同士が主となって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う機会を設ける「本人ミーティング」の普及のため、市町村へのアドバイス等を実施する。（委託先：認知症の人と家族の会岡山県支部）

2 予防

〈R7年度当初予算額 14,897千円〉

(1) 通いの場の普及促進

介護予防に有効とされる週1回以上、住民運営で体操や趣味活動などを行う通いの場を普及促進するため、県内先進事例の横展開や住民運営のノウハウ提供、情報誌の作成を行うとともに、通いの場参加者やボランティアを対象としたフォーラムを開催し、広く県民に通いの場の魅力を発信する。さらに、市町村に対しては、専門家等を活用し、通いの場の介護予防効果測定や、地域の実情に応じた通いの場の立ち上げを支援する。

【通いの場の箇所数】

※毎年度4月1日時点

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
箇所数	1,362箇所	1,392箇所	1,426箇所	1,464箇所

(2) 通所付添サポート事業の実施

ア アウトリーチの実施

県庁に配置している市町村支援員や、アドバイザー派遣による、通所付添サポートの立ち上げ支援

イ 通所付添サポーターの養成

自力で通いの場等への参加が困難な高齢者の誘い出しや、付添を行う元気な世代の高齢者等を対象に、安心して活動するために必要な基本的知識・技術を学ぶ講習を開催

ウ 介護予防先導モデルへの補助

市町村が実施する住民互助による通所付添活動の立ち上げ支援に要する経費を補助(補助率 10/10 上限 50万円)

【通所付添サポート事業の実施市町村及び通所付添サポーター養成者数】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
市町村名	吉備中央町								
養成者数	42人	65人	167人	70人	48人	128人	57人	30人	47人

3 医療・ケア・介護サービス

〈R7年度当初予算額 47,945千円〉

(1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備

ア 岡山県認知症疾患医療センターの設置

地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るため、認知症に係る地域連携の拠点となる認知症疾患医療センターとして、8病院を指定している。

(7) 指定状況

※人口はR7.10.1現在の「毎月流動人口」

二次保健医療圏	65歳以上人口(人)	高齢化率	病院名(所在地)	指定期間 ()は当初指定日
県南東部	257,261	29.7%	岡山大学病院(岡山市北区)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			慈圭病院(岡山市南区)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			岡山赤十字病院(岡山市北区) ※岡山市が指定	—
県南西部	197,325	31.2%	川崎医科大学附属病院(倉敷市)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			倉敷平成病院(倉敷市)	R6.4.1~R9.3.31 (H24.3.28)
			きのこエスポール病院(笠岡市)	R6.4.1~R9.3.31 (H27.8.1)
高梁・新見	22,089	44.7%	さきがけホスピタル(高梁市)	R6.4.1~R9.3.31 (H25.10.22)
真庭	16,521	42.3%	向陽台病院(真庭市)	R8.4.1~R11.3.31 (H29.8.1)
津山・英田	57,478	36.2%	積善病院(津山市)	R8.4.1~R11.3.31 (H29.8.1)
合計	550,674	31.5%		

(i) 指定病院の役割

a 専門的医療機能

- (a) 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- (b) 認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
- (c) 専門医療相談

b 地域連携拠点機能

- (a) 認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営
- (b) 研修会の開催

c 診断後等支援機能

- (a) 診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援
- (b) 当事者等によるピア活動や交流会の開催

d アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療・相談支援等機能

e 事業の着実な実施に向けた取組の推進

※センター間の連携体制の確立や医療・介護・福祉間の連携推進などについて検討する認知症疾患医療センター連絡会議を毎年度開催している。また、令和5年度から、職員向け研修を開催している。

令和7年度に新たに実施した事業

- アルツハイマー病抗アミロイドβ抗体薬の投与情報について県ホームページへ掲載

(2) 認知症サポート医の養成等

ア 認知症サポート医の養成

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医に対する助言等の支援を行い、専門医療機関や市町村地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

(ア) 委託先

- a 受講者選定・派遣 岡山県医師会
- b 研修実施主体 国立長寿医療研究センター

(イ) 養成者数（自費参加者を含む）

研修名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症サポート医養成研修 修了者数	14人	14人	12人	20人

イ 認知症サポート医フォローアップ研修

認知症サポート医等に対し、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討等を通じて、地域における認知症の人への支援体制の充実や、地域における認知症サポート医の連携・強化を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症サポート医 フォローアップ研修	開催回数	1回	1回	1回	1回
	修了者数	69人	59人	51人	44人

(3) 医師等の認知症対応力の向上

ア かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	2回	2回
	修了者数	19人	29人	28人	25人

イ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院に勤務する医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	開催回数	4回	4回	4回	4回
	修了者数	158人	184人	123人	167人

ウ 歯科医師認知症対応力向上研修

高齢者が受診する歯科医師に対し、認知症の人本人と家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県歯科医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
歯科医師認知症対応力向上研修	開催回数	1回	1回	1回	1回
	修了者数	137人	177人	152人	128人

エ 薬剤師認知症対応力向上研修

高齢者が受診した際や受診後等に接する薬局・薬剤師に対し、認知症の人本人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県薬剤師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
薬剤師認知症対応力向上研修	開催回数	2回	1回	1回	1回
	修了者数	268人	307人	241人	319人

オ 看護職員認知症対応力向上研修

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県看護協会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
看護職員認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	2回	2回
	修了者数	34人	61人	70人	74人

※前年度からの繰り越し者を含む修了証書を交付した者のうち1名は他県(R5)

(4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成

ア 認知症介護基礎研修

新任の介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 実施方法 県が指定する法人(社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究・研修仙台センター)が実施する。R5年度からはeラーニングによる。

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症介護基礎研修	開催回数	1回	—	—	—
	修了者数	852人	1,458人	766人	711人

イ 認知症介護実践研修

高齢者介護実務者に対し、認知症介護に関する実践的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 実施方法 県が指定する法人が実施

- a 実践者研修 …岡山県社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社
岡山県老人保健施設協会
- b リーダー研修 …岡山県老人保健施設協会、岡山市ふれあい公社

(イ) 修了者数

研修名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症介護実践者研修	開催回数	8回	8回	8回	7回
	修了者数	293人	338人	364人	299人
認知症介護 実践リーダー研修	開催回数	2回	2回	2回	3回
	修了者数	56人	61人	74人	90人

※修了者数には前年度からの延期分を含む。

ウ 認知症対応型サービス事業管理者等養成研修

認知症高齢者グループホームの管理者や開設者、小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者等に対して、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県社会福祉協議会

- (イ) 定員
 - a 開設者研修 20人×1回
 - b 管理者研修 40人×1回、50人×2回
 - c 計画作成担当者研修 40人×1回

(ウ) 修了者数

研修名	開催回数	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症対応型サービス事業 開設者研修修了者数	年1回	10人	12人	12人	9人
認知症対応型サービス事業 管理者研修修了者数	年3回	72人	67人	64人	56人
小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修修了者数	年1回	25人	26人	40人	28人

エ 認知症介護指導者養成研修

認知症介護に関する専門的な知識・技術を有し、認知症介護研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができ、また、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる認知症介護指導者を養成する。また、そのフォローアップ研修を実施する。

研修名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症介護指導者養成研修修了者数	2人	0人	0人	4人
認知症介護指導者 フォローアップ研修修了者数	0人	1人	1人	1人

4 地域で支える体制の整備

〈R7年度当初予算額47,136千円〉

(1) 認知症の人とその家族への支援

ア おかやま認知症コールセンターの設置

認知症の人やその家族が悩みやストレスを抱え込んでしまうことがないように、岡山市と共同で社会福祉士や介護支援専門員等の専門職が対応する「おかやま認知症コールセンター」を設置している。

(ア) 電話番号等 086-801-4165 (晴れて一番 よい老後)

月曜日～金曜日 10:00～16:00

(イ) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(ウ) 相談件数

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談件数(延)	607件	626件	544件	701件

イ 認知症高齢者・家族交流会の開催

認知症サポート医等の認知症理解についての講演、介護の体験談の発表、グループワーク等を通じて、介護経験者と介護に不安を持つ介護家族及び認知症高齢者本人等の交流会を実施する。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R7年度実績 各県民局管内1回実施

(2) 若年性認知症の人への支援

ア おかやま若年性認知症支援センターの設置

若年性認知症の人とその家族等を対象とした相談窓口として設置。若年性認知症支援コーディネーター(※)5名で対応。

※若年性認知症の人やその家族に対する相談支援、医療・介護、労働等の関係者による支援体制(ネットワーク)の構築、企業や関係者等の若年性認知症に対する理解を促進するための普及・啓発等の支援を行うため、都道府県、指定都市に配置されている者。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) 主な業務

a 電話相談・面談・訪問

(a) 電話番号 086-436-7830

(b) 相談日・時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(c) 相談体制等 コーディネーター(保健師、社会福祉士等の専門職)が、電話相談に対応し、内容に応じて適宜面談等を実施。

(d) 相談内容 受診、治療、就労、社会参加、介護サービス等

b 個別ケア会議

- c 医療、介護、福祉、就労等の総合的な支援に向けて関係団体等が参画するネットワーク会議の開催
- d 市町村・地域包括支援センター職員等への研修会等の普及活動

(ウ) 活動報告

a 電話相談集計報告

年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
相談件数(延)	284件	285件	409件	551件

b R 7年度普及活動

関係機関の訪問や、研修講師等（病院、大学・専門学校等）

イ 若年性認知症の人と家族の集いの開催

若年性認知症の人やその家族が集い、共同作業、レクリエーション、情報・意見交換等を行う「ひまわりの会」を開催する。（年6回程度開催）。

- (ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部
- (イ) R 7年度実績 計6回実施 本人・家族等180人参加(延)

(3) 市町村の取組の支援

ア 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症初期集中支援チームのチーム員等がその活動に必要な知識・技能を身に付けるため、国立長寿医療研究センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における支援チームの配置を推進するとともに、支援チームの質の確保・向上を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症初期集中支援チーム員研修修了者数	30人	33人	28人	35人

イ 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員等がその活動に必要な知識・技術を身に付けるため、認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における推進員の配置を推進するとともに、推進員の質の確保・向上を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
認知症地域支援推進員研修修了者数	43人	54人	54人	57人

ウ チームオレンジ研修事業

認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みとして、チームオレンジの整備に取り組む市町村を支援するため、市町村職員やコーディネーター等に対し、活動に必要な知識や技術を伝達するとともに、先進自治体の取組事例を紹介することにより、活動の推進を図る。

研修名	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
チームオレンジ研修受講者	74人	88人	65人	79人

エ 認知症ケアに係る医療連携体制整備事業

認知症ケアパスや認知症地域連携パス等の作成やその運用体制の構築に係る経費、認知症ケアパス等を周知・普及させるための研修会の実施に係る経費を補助する。

- (ア) 実施主体 市町村、郡市等医師会、認知症疾患医療センター
- (イ) R7年度実施団体 1団体（新見医師会）

オ 市町村認知症事業連絡会の開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県内市町村の取組事例の伝達や意見交換など、市町村や地域包括支援センターの職員等を対象とした研修会を開催する。

- (ア) 対象 市町村や地域包括支援センターの職員等
- (イ) 開催回数 各県民局 年1回（計3回）
- (ウ) 内容 認知症施策推進計画策定について、認知症当事者や家族への関わり方について等

カ 岡山県認知症対策連携会議の設置

行政と医療・介護・福祉等の関係者が連携し、県内における総合的な認知症対策を円滑に推進するための検討を行う組織として設置する。

(4) 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の増加などにより、成年後見制度の利用が必要となる人の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、必要な施策を実施する。

ア 市民後見人養成講座（基礎研修）の実施（日程：7日間）

市民後見人養成講座を県南・県北会場の2会場で実施する。

- (ア) 委託先 県南会場（岡山市） 東京リーガルマインド
県北会場（津山市） 津山市社会福祉協議会
- (イ) R7年度実績 修了者数 55名

イ 市民後見推進に係る市町村支援

市町村が実施する市民後見人養成応用研修、フォローアップ研修等を支援する。

- (ア) R7年度実績 15市町村

ウ 市町村・中核機関職員を対象とした成年後見制度利用促進研修会

市町村や中核機関の職員が、県内どの地域においても成年後見制度の必要な者が制度利用できる等地域体制の構築を図るため必要な知識及び技術等を習得することを目的とした研修会を実施する。

- (ア) 実施方法 直営・委託（岡山県社会福祉協議会）
- (イ) 対象 市町村職員、市町村社会福祉協議会職員等
- (ウ) R7年度実績 3回 実施

エ 市町村連絡会議

市町村における成年後見制度の利用促進の取組状況等について情報共有を図り、市町村の取組の推進に寄与するため連絡会議を開催する。

- (ア) R7年度実績 1回開催

オ 法的相談窓口設置

市町村からの高齢者虐待防止、高齢者の権利擁護に関する相談に対し、受付窓口を設置するとともに弁護士の援助を行う。

(5) 行方不明の認知症高齢者への対応

ア 広域ネットワークの運営

徘徊（ひとり歩き）等により行方不明となった認知症高齢者の早期発見・保護等を行うため、市町村で運営されているSOSネットワーク等の効率的な連携を図るために運営。

※ネットワークの利用状況（R6.6.1～R7.5.31）

- ・行方不明発生通報件数 28件
- ・うち広域ネットワークへの検索依頼件数 3件

イ 協力事業者の登録

認知症高齢者の行方不明時の検索等に協力してもらえる県内の広域交通関係事業者等を登録し、市町村に提供。

※協力事業所 27事業所（R8.3.31現在）

令和7年度 岡山県認知症疾患医療センター(8センター)の活動実績

(1)専門医療相談

(単位:件)

方法	件数
電話	3,520
面接	603
訪問	43
オンライン	0
その他	78
合計	4,244

(2)専門医療相談(相談元)((1)の内訳)(単位:件)

相談元	件数
本人から	457
家族等介護者から	2,050
地域包括支援センターから	391
医療機関(かかりつけ医等)から	574
介護事業所等から	685
行政機関から	118
院内他科から	13
その他	73
合計	4,361

(3)受診の経緯

(単位:件)

紹介元	件数
地域包括支援センターから	160
医療機関(かかりつけ医等)から	1,533
介護事業所等から	294
行政機関から	156
初期集中支援チームから	9
その他	67
合計	2,219

(4)受診後の情報提供

(単位:件)

情報提供先	件数
地域包括支援センターへ	90
医療機関(かかりつけ医等)へ	1,910
介護事業所等へ	236
行政機関へ	131
その他	12
合計	2,379

(5)鑑別診断件数

(単位:件)

鑑別診断結果	実数	構成比
① 正常または健常	167	—
② 軽度認知障害(MCI)	764	—
認知症	アルツハイマー型認知症	1,245 84.2%
	血管性認知症	78 5.3%
	レビー小体型認知症	119 8.0%
	前頭側頭型認知症	17 1.1%
	その他の認知症	20 1.4%
③ 認知症小計	1,479	
④ その他	368	—
合計(①~④)	2,778	

※上記のうち、65歳未満認知症患者実数: 47

(6)その他

(単位:センター)

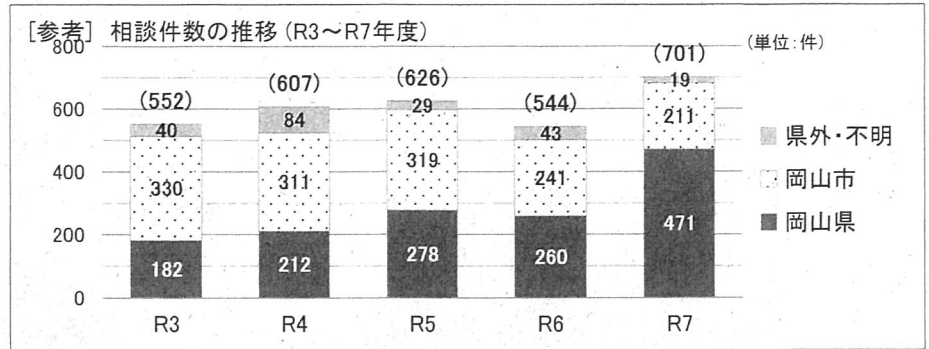
内容	実施数
認知症疾患医療連携協議会の開催	7
研修会の開催(重複あり)	
・医療従事者対象	8
・地域包括職員等対象	7
・家族・地域住民等対象	7
地域への認知症医療に関する情報発信	7
地域への認知症に関する理解を促す普及啓	7
他の主体の実施する研修会への協力・講師	8
初期集中支援チームへの関与	
・チーム設置	—
・チーム員として参加	4
・後方支援	5

※チーム員及び後方支援: 3

おかやま認知症コールセンター実績報告（令和7年度）

1 相談件数

	相談件数
岡山県	471
岡山市	211
県外・不明	19
計	701



2 相談時間

	1分～30分	31分～60分	61分～
岡山県	438	28	5
岡山市	165	35	11
県外・不明	15	3	1
計	618	66	17

3 相談者・相談内容

(1) 相談者

(単位:件) (再掲)

	配偶者	子 (子の配偶者)	兄弟	本人	その他	(うち若年)
岡山県	20	442	3	4	2	1
岡山市	29	125	12	30	15	12
県外・不明	0	16	0	2	1	0
計	49	583	15	36	18	13

(2) 要介護者の居住状況

(単位:件)

	単身世帯	家族と同居	施設	その他
岡山県	16	72	375	8
岡山市	45	123	31	12
県外・不明	6	10	3	0
計	67	205	409	20

(3) 相談内容

(単位:件)

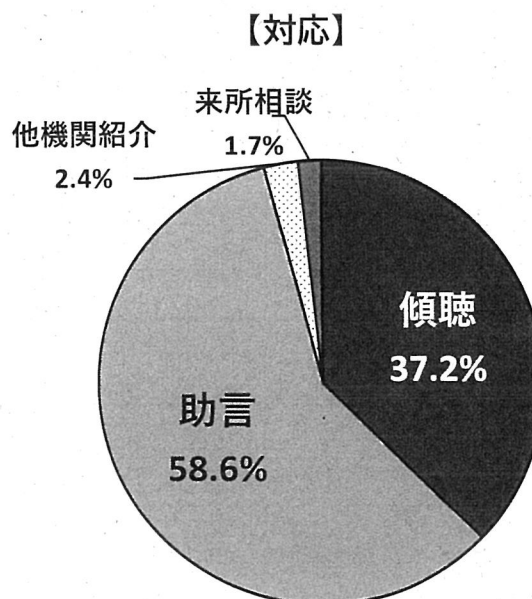
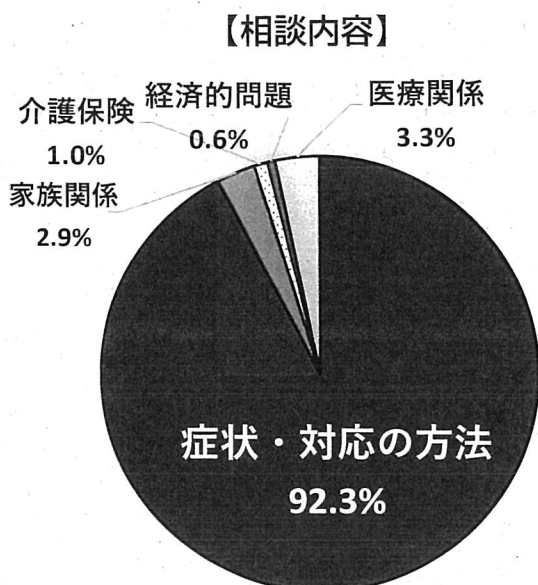
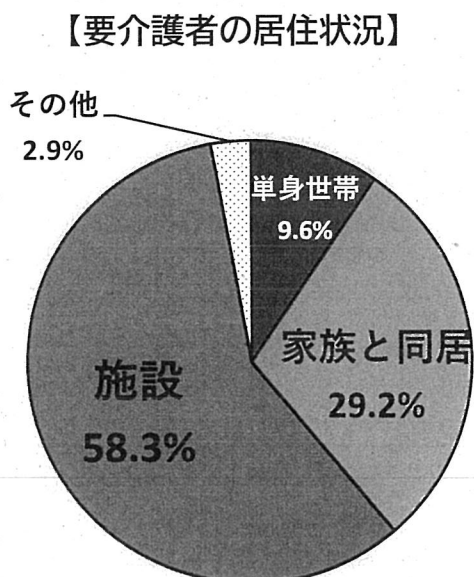
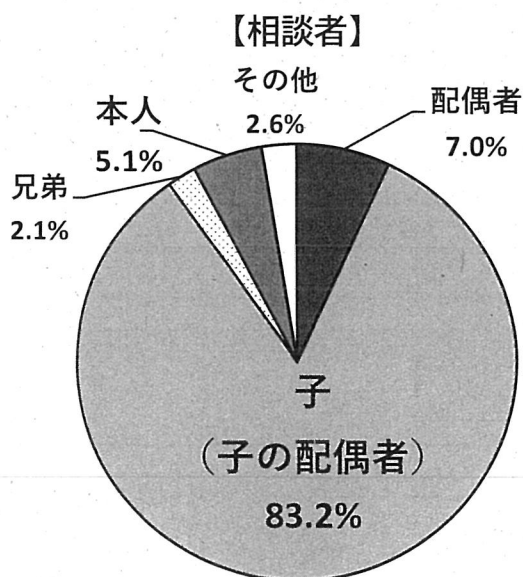
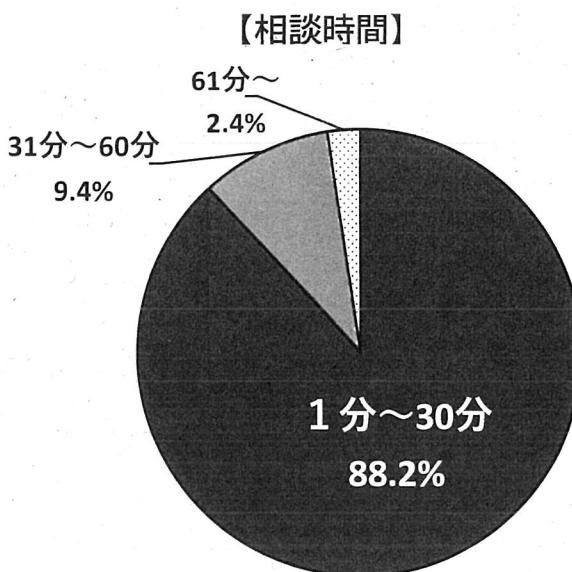
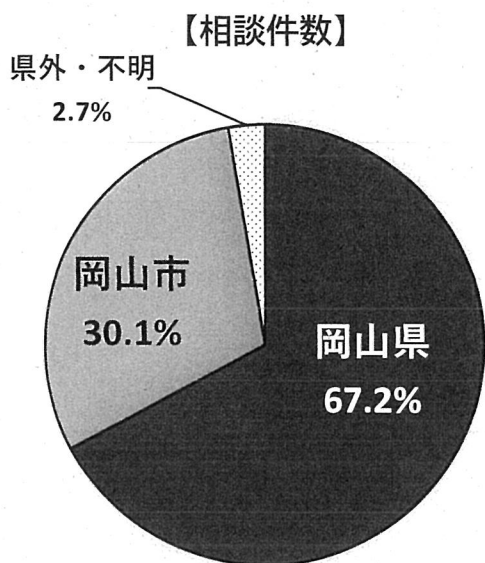
	症状・対応の方法	家族関係	介護保険	経済的問題	医療関係	苦情	その他
岡山県	451	9	2	2	7	0	0
岡山市	182	9	5	2	13	0	0
県外・不明	14	2	0	0	3	0	0
計	647	20	7	4	23	0	0

(4) 対応

(単位:件)

	傾聴	助言	他機関紹介	来所相談	その他
岡山県	237	230	4	0	0
岡山市	24	163	12	12	0
県外・不明	0	18	1	0	0
計	261	411	17	12	0

おかやま認知症コールセンター実績報告（令和7年度）



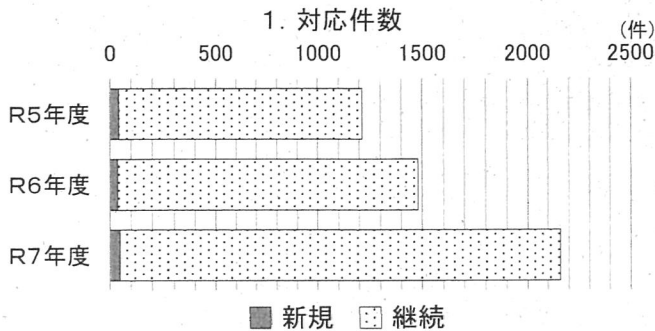
おかやま認知症コールセンターの令和7年度実績報告書をもとに岡山県が作成。百分率(%)で示した数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。

おかやま若年性認知症支援センター 若年性認知症支援コーディネーター対応件数(実績報告)

1. 対応件数

(単位:件)

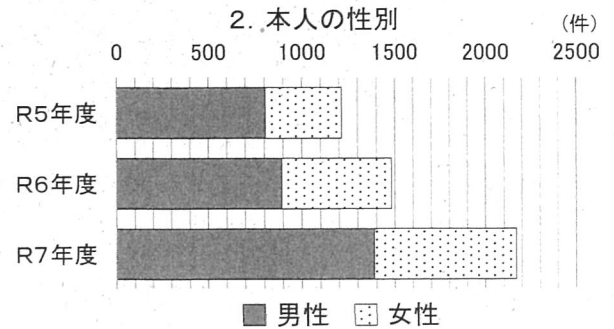
	新規	継続	合計	実人数
R5年度	43	1171	1214	93人
R6年度	36	1444	1480	86人
R7年度	47	2111	2158	106人



2. 本人の性別

(単位:件)

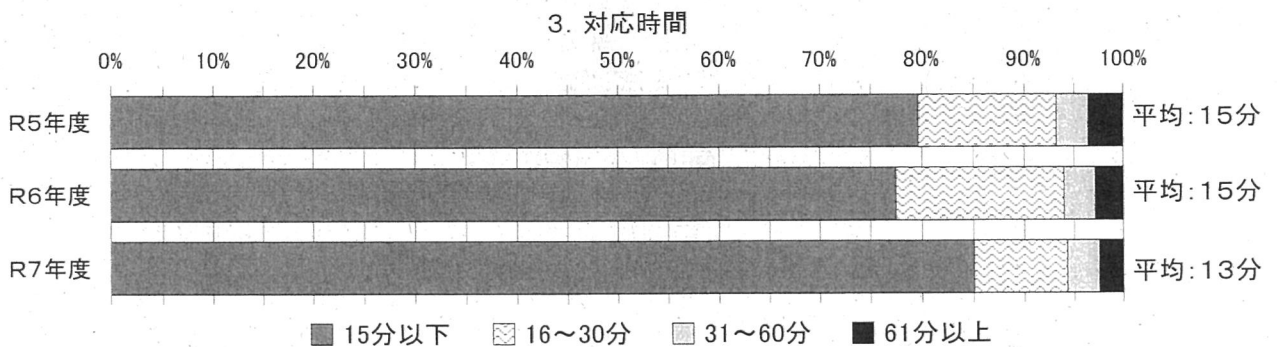
	男性	女性	合計
R5年度	806	408	1214
R6年度	892	588	1480
R7年度	1388	779	2167



3. 対応時間

(単位:件)

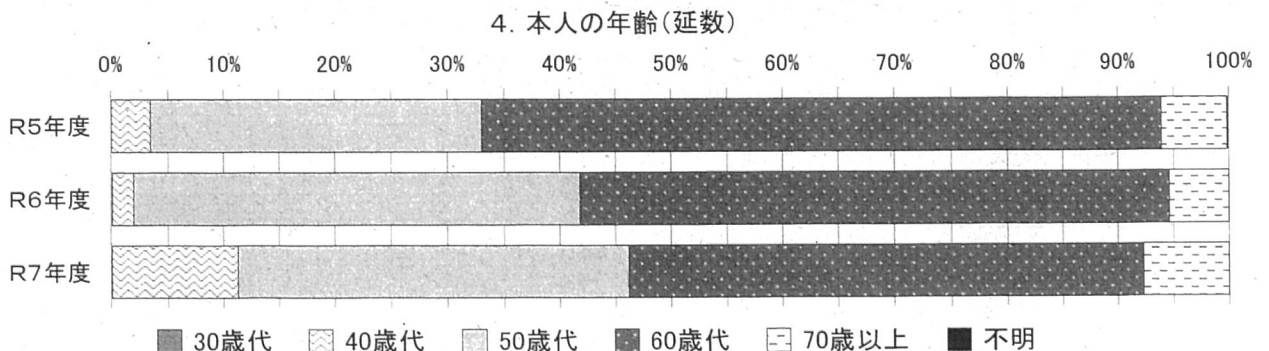
	15分以下	16~30分	31~60分	61分以上	平均
R5年度	967	165	39	43	15分
R6年度	1147	244	47	42	15分
R7年度	1836	199	71	52	13分



4. 本人の年齢(延数)

(単位:件)

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
R5年度	1	41	359	739	72	2
R6年度	2	28	589	781	80	0
R7年度	2	242	752	995	167	0

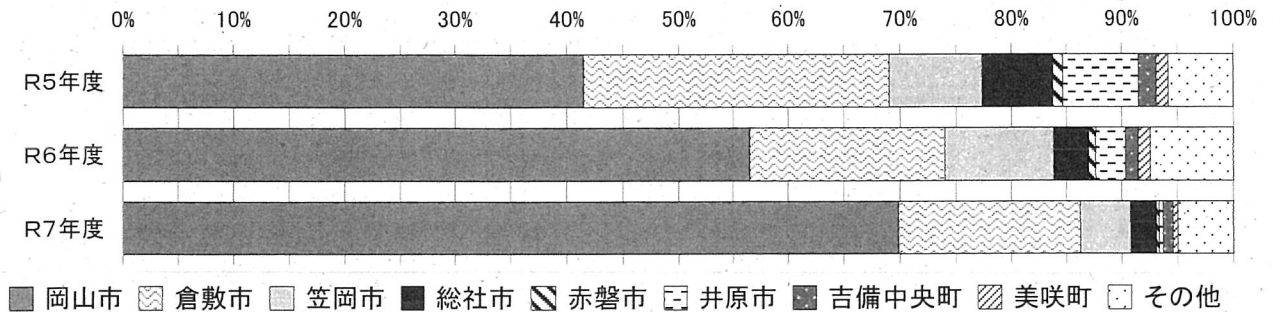


5. 本人の市町村(延数)

(単位:件)

	岡山市	倉敷市	笠岡市	総社市	赤磐市	井原市	吉備中央町	美咲町	その他
R5年度	504	334	101	78	11	83	19	13	71
R6年度	836	258	146	46	10	40	17	16	110
R7年度	1507	353	99	49	6	7	20	10	107

5. 本人の市町村(延数)

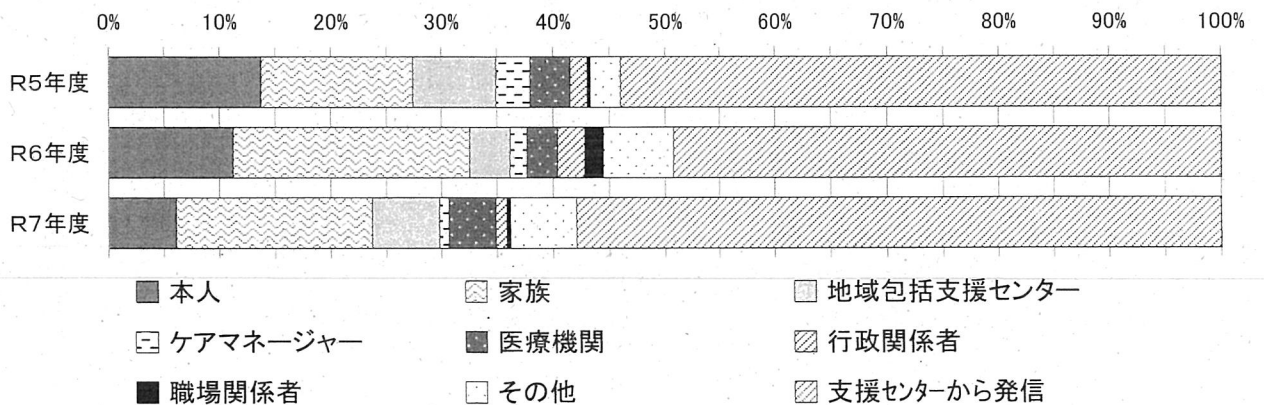


6. 相談者(延数)

(単位:件)

	本人	家族	地域包括支援センター	ケアマネージャー	医療機関	行政関係者	職場関係者	その他	支援センターから発信
R5年度	146	146	79	32	38	16	3	29	574
R6年度	166	315	54	22	40	36	24	94	729
R7年度	131	380	132	18	91	21	8	127	1250

6. 相談者(延数)



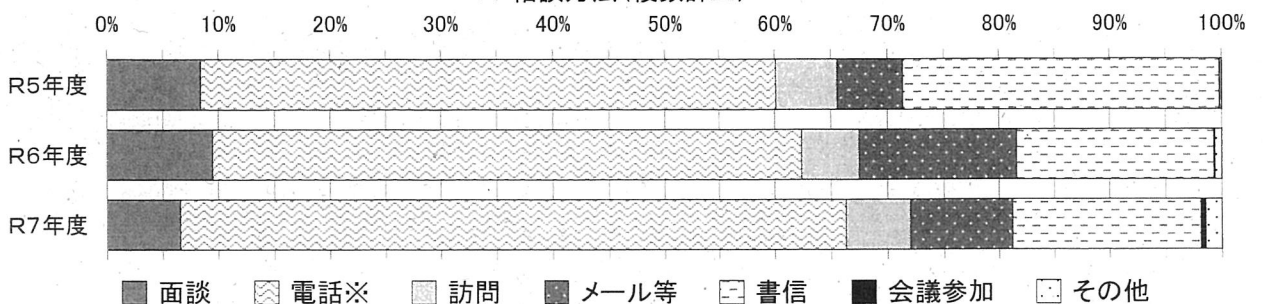
7. 相談方法(複数計上)

(単位:件)

	面談	電話※	訪問	メール等	書信	会議参加	その他
R5年度	103	633	67	71	348	1	2
R6年度	143	800	77	213	268	2	9
R7年度	144	1308	124	202	371	10	31

※コールセンターへの電話含む

7. 相談方法(複数計上)

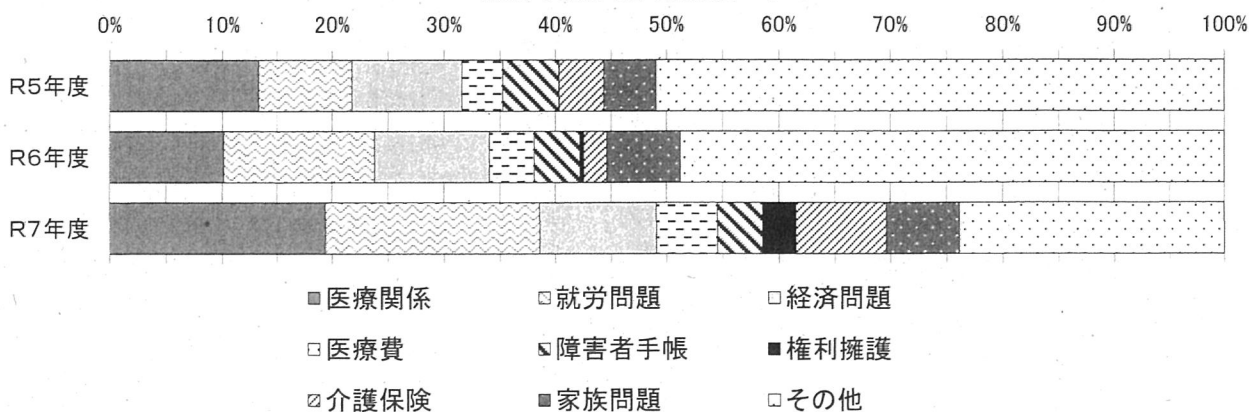


8 相談・支援内容(複数計上)

(単位:件)

	医療関係	就労問題	経済問題	医療費	障害者手帳	権利擁護	介護保険	家族問題	その他
R5年度	311	198	229	85	119	1	94	111	1189
R6年度	290	393	295	114	120	10	59	190	1399
R7年度	595	586	324	166	123	91	249	199	731

8. 相談・支援内容(複数計上)

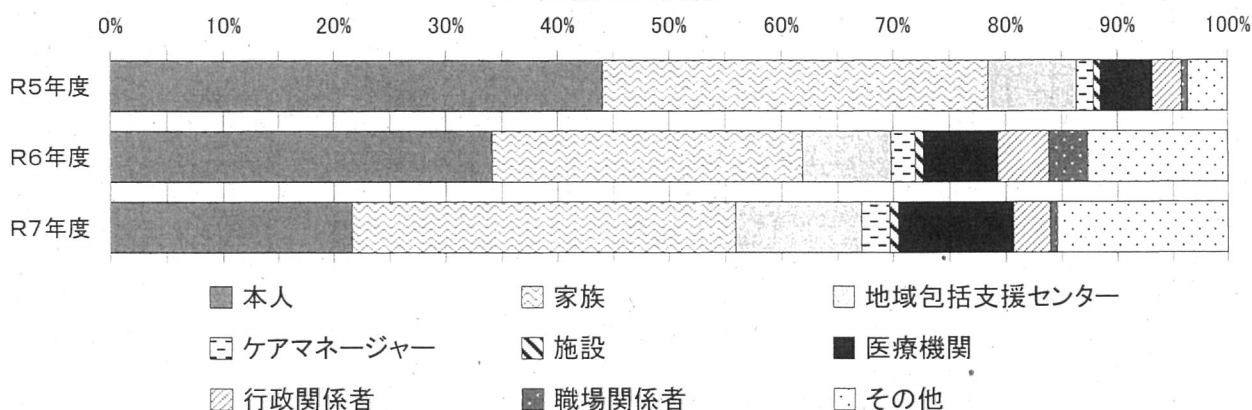


9 支援対象(複数計上)

(単位:件)

	本人	家族	地域包括支援センター	ケアマネジャー	施設	医療機関	行政関係者	職場関係者	その他
R5年度	673	525	120	24	9	71	41	9	55
R6年度	546	442	128	34	12	105	72	56	203
R7年度	508	805	266	59	17	240	76	15	363

9. 支援対象(延数)



出典:おかやま若年性認知症支援センターの2023~2025年度実績報告書をもとに岡山県が作成。

市町村別認知症施策の取組状況について

圏域	市町村	高齢化率	疾患医療センター (箇所)	初期集中支援チーム (チーム数)	地域支援推進員 (人)	認知症ケアパス	チームオレンジ (チーム数)	認知症カフェ (箇所)	SOSネットワーク
県南東部	岡山市	27.4%	3	1	8	○	16	47	○
	玉野市	40.2%		1	8	○	4	6	○
	備前市	41.8%		1	6	○	2	7	○
	瀬戸内市	35.1%		1	7	○	1	7	○
	赤磐市	35.2%		1	3	○		6	○
	和気町	42.4%		1	4	○	1	1	○
	吉備中央町	44.4%		1	3	○	2	3	○
計	29.7%	3	7	39	7	26	77	7	
県南西部	倉敷市	29.4%	2	3	6	○	4	25	○
	笠岡市	40.3%	1		7	○		2	○
	井原市	38.8%		1	14	○	1	3	○
	総社市	28.9%		1	0	○	1	12	○
	浅口市	37.0%		1	2	○	2	5	○
	早島町	27.5%		1	3	○		2	○
	里庄町	32.7%		1	6	○	1	1	○
矢掛町	40.6%		1	2	○	1	1	○	
計	31.2%	3	9	40	8	10	51	8	
高梁・新見	高梁市	45.3%	1	1	8	○	6	8	○
	新見市	44.2%		3	6	○	3	4	○
計	44.7%	1	4	14	2	9	12	2	
真庭	真庭市	42.2%	1	1	12	○	12	8	○
	新庄村	47.2%			0				○
計	42.3%	1	1	12	1	12	8	2	
津山・英田	津山市	32.7%	1	1	36	○	1	5	○
	美作市	43.7%		1	3	○	2	4	○
	鏡野町	40.8%		1	3	○		2	○
	勝央町	33.5%		1	3			2	○
	奈義町	36.5%		1	1			1	○
	西粟倉村	37.7%		1	1				○
	久米南町	46.1%		1	6	○		1	○
美咲町	42.9%		1	3			1	○	
計	36.2%	1	8	56	4	3	16	8	
合計	31.5%	9	29	161	22	60	164	27	

※高齢化率はR7. 10. 1時点、初期集中支援チームはR7. 4. 1時点、地域支援推進員はR7. 11. 30時点（当該年度中配置予定も含む）、SOSネットワークはR7. 5. 31時点、チームオレンジはR8. 2. 1時点、認知症カフェはR7. 5. 1時点、その他はR8. 3. 31時点

岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画

項目	岡山県		
	現状 (R4年度)	実績 (R7年度末)	目標 (R8年度末)
○普及啓発・本人発信支援			
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	224,978人	267,971人	280,000人
○医療・ケア・介護サービス			
認知症サポート医養成研修修了者数	277人	340人	365人
かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,941人	2,126人	2,200人
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修修了者数(累計)	2,234人	2,708人	2,900人
看護職員認知症対応力向上研修修了者数(累計)	558人	763人	730人
歯科医師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	913人	1,370人	1,360人
薬剤師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	2,063人	2,890人	3,030人
認知症介護実践研修(実践者研修)修了者数	10,355人	11,356人	11,700人
認知症介護実践研修(実践リーダー研修)修了者数	1,352人	1,577人	1,570人
認知症介護指導者養成研修修了者数	49人	56人	52人
○地域で支える体制の整備			
チームオレンジ設置市町村数	6市町村	17市町村	27市町村